

令和 5 年度事業報告書

(目次)

1. 諸会議	
1) 総会	
(1) 第 73 回(春季)通常総会	1
(2) 第 73 回(秋季)通常総会	5
2) 監事監査	9
3) 理事会(第 1 回～第 4 回)、正・副会長会議(第 1 回～第 7 回)	9
4) 事務局長等会議	20
2. 研修会	
1) 第 54 回事務職員中央研修会	21
2) 第 42 回幹部研修会	24
3. 公立短期大学実態調査の実施及び同報告書の発行	27
4. 情報収集・情報提供活動	
1) ホームページの作成・管理	27
2) 関係機関等への意見表明	
○公立短期大学の概要・地域貢献の課題	
(活力ある公立大学のあり方に関する研究会宛)	28
○公立短期大学に対する地方交付税措置についての要望書	36
3) 会員校間における情報交換	
(1) 公立短期大学の卒業生の受入先企業・団体等へのアンケート調査	37
(2) 総会・研修会等における情報交換	38
4) 後援名義の許可	41
5. 外部機関の委員会等における活動	42
<巻末> 公立短期大学の卒業生の受入先企業・団体等へのアンケート(調査結果)	43

1. 諸会議

1) 総会

(1) 令和 5 年度第 73 回(春季)通常総会 令和 5 年 5 月 22 日 (月)

①学長及び会員である短期大学を代表する者について

(令和 5 年 5 月 22 日現在)

No	短期大学名	学長	会則による 会員である短期大学を代表する者	
			職名	氏名
1	公立大学法人旭川市立大学 旭川市立大学短期大学部	三上 隆	学長	三上 隆
2	公立大学法人岩手県立大学 岩手県立大学宮古短期大学部	鈴木 厚人	学長	鈴木 厚人
3	公立大学法人岩手県立大学 岩手県立大学盛岡短期大学部	鈴木 厚人	学長	鈴木 厚人
4	山形県公立大学法人 山形県立米沢女子短期大学	阿部 宏慈	学長	阿部 宏慈
5	公立大学法人会津大学 会津大学短期大学部	宮崎 敏明	短期大学部長	鈴木 秀子
6	川崎市立看護短期大学	坂元 昇	学長	坂元 昇
7	大月市立大月短期大学	柳沢 幸治	学長	柳沢 幸治
8	岐阜市立女子短期大学	畑中 重光	学長	畑中 重光
9	静岡県公立大学法人 静岡県立大学短期大学部	尾池 和夫	短期大学部長	永倉 みゆき
10	静岡県立農林環境専門職大学 短期大学部	鈴木 滋彦	学長	鈴木 滋彦
11	三重短期大学	村井 美代子	学長	村井 美代子
12	公立大学法人島根県立大学 島根県立大学短期大学部	山下 一也	副学長	岩田 英作
13	倉敷市立短期大学	安達 励人	学長	安達 励人
14	公立大学法人 大分県立芸術文化短期大学	小手川 大助	学長	小手川 大助
15	鹿児島県立短期大学	飯干 明	学長	飯干 明

(注) 下線は、異動のあった者

② 議事概要

令和 5 年 5 月 22 日（月）に第 73 回（春季）通常総会をハイフレックス方式により AP 虎ノ門会議室において開催。

会場へは 12 大学、Web では 3 大学の合計 15 大学 37 名（学長、学部長、事務局長等及び顧問）が参加した。

総会は午前 11 時に開会し、柳沢会長の挨拶につづき、文科省高等教育局大学教育・入試課古田和之課長から来賓挨拶の後、同課の中村栄作課長補佐から行政説明「公立短期大学をめぐる諸情勢について」が行われた。

総務省からの行政説明では、自治財政局財務調査課宮崎正志課長補佐から「地方財政の課題等について」が行われ、続いて、内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局青木純参事官補佐から「地方創生と大学関係政策」について、それぞれ最新の行政課題についての講演が行われた。

「総会議事」は、新任学長等の紹介が行われた後、(1) 役員の選出では、監事に畑中重光氏（岐阜市立女子短期大学学長）、理事に鈴木滋彦氏（静岡県立農林環境専門職大学短期大学部学長）が選出され、理事代理には飯干明氏（鹿児島県立短期大学学長）が推薦・任命された。

(2) 功労者表彰では、長年監事を務められた坂元昇氏（川崎市立看護短期大学学長）が表彰された。

(3) 会員の入会では、公立大学法人旭川市立大学 旭川市立大学短期大学部の入会が承認された。

また、令和 4 年度事業報告・決算報告、令和 5 年度事業計画・予算概算、令和 5 年度の会費などが審議・承認された。

「研究協議 1」は、阿部副会長の司会で進められ、「運営費交付金の効率化係数」、「科研費のバイアウト」についてほか 6 議題について活発な意見交換が行われた。

「研究協議 2」の実践事例発表では、①岐阜市立女子短期大学の畑中重光学長、及び②島根県立大学短期大学部の岩田栄作副学長から、それぞれ地域に根差した大学の取組みについて発表が行われた後、熱心な意見交換が行われた。

総会の終了時には、川崎市立看護短期大学学長の坂元昇氏に対し公短協の功労者として表彰が行われた後、柳沢会長による総括と挨拶があり午後 5 時に閉会した。（了）

③ 個別議案について

議案1 役員の選出等について（案）

（1）監事の選出について

畑中重光（岐阜市立女子短期大学学長）氏を選出

（2）理事の選出について

鈴木 滋彦（静岡県立農林環境専門職大学短期大学部学長）氏を選出

（3）理事代理の選任について

飯干 明（鹿児島県立短期大学学長）氏を会長に推薦・会長が任命

役員一覧(令和5年5月22日通常総会)

役員名	短期大学名	職名	氏名	現在の任期
会長	大月市立大月短期大学	学長	柳沢 幸治	令和6年春季通常総会まで
副会長	三重短期大学	学長	村井美代子	令和6年春季通常総会まで
	山形県立米沢女子短期大学	学長	阿部 宏慈	令和6年春季通常総会まで
理事	岩手県立大学宮古短期大学部	学長	鈴木 厚人	令和6年春季通常総会まで
	岩手県立大学盛岡短期大学部			
	倉敷市立短期大学	学長	安達 励人	令和6年春季通常総会まで
	静岡県立農林環境専門職大学短期大学部	学長	鈴木 滋彦	令和6年春季通常総会まで
監事	岐阜市立女子短期大学	学長	畑中 重光	令和7年春季通常総会まで
	大分県立芸術文化短期大学	学長	小手川 大助	令和6年春季通常総会まで
理事代理	会津大学短期大学部	学部長	鈴木秀子	令和6年春季通常総会まで
	静岡県立大学短期大学部	学部長	永倉みゆき	令和6年春季通常総会まで
	鹿児島県立短期大学	学長	飯干 明	令和6年春季通常総会まで

議案2 功労者表彰について

坂元 昇(川崎市立看護短期大学学長)氏を学長表彰

氏名	学長在職年月	功労	摘要
川崎市立 看護短期大学 学長 坂元 昇	H29.4.1～ (6年在職中) (R5.3末現在)	監事 H29.4.1～H29.5.26(前任者残任期間) H29.5.26～R5.5.23 (6年2月在職)	本協会の監事として公立短期大学の適正な事業・会計業務運営に尽力され、協会の発展に貢献された。 また、国の「就職問題懇談会委員」(H29.4～R5.3)として6年間の長きにわたり活躍された。

(注) 1.川崎市立看護短期大学は4大へ移行のために令和5年度末(2024.3.)に閉学予定。

2.表彰は、令和5年5月開催の総会後に表彰状を授与。

議案3 入会について(令和5年度から)

公立大学法人旭川市立大学 旭川市立大学短期大学部の入会

議案4 事業報告・決算報告について

(1) 令和4年度事業報告について

一部修正のうえ承認

(2) 令和4年度決算報告について

一部修正のうえ承認

議案5 令和5年度事業計画(一部修正案)について

次の事項が承認された。

(4) 企業アンケートについて

全国規模の企業アンケートを、会員校の協力を得て実施する。

議案6 令和5年度予算編成方針(一部修正案)について

一部修正のうえ承認

議案7 令和5年度会費(一部修正案(朱書き部分))について

一部修正のうえ承認

<表のみ抜粋>

単位:円

短期大学名	学科 収容 定員	専攻 科 収容 定員	学生 数 A	学生数 当り額 A×493.48	学校数割 均等額 416,000	令和5年度 会費 計算額	令和5年度 軽減会費 計算額 軽減率 0.9785	令和5年度 会費 100円未満 四捨五入
旭川市立大学 短期大学部	150		150	74,022	416,000	490,022	488,431	488,400
岩手県立大学 宮古短期大学部	200		200	98,696	416,000	514,696	512,574	512,600
岩手県立大学 盛岡短期大学部	200		200	98,696	416,000	514,696	512,574	512,600
山形県立米沢女子 短期大学	500		500	246,740	416,000	662,740	657,435	657,400
会津大学短期大学部	300		300	148,044	416,000	564,044	560,861	560,900
川崎市立看護 短期大学	80		80	39,478	416,000	455,478	455,478	455,500
大月市立大月 短期大学	400		400	197,392	416,000	613,392	609,148	609,100
岐阜市立女子 短期大学	430		430	212,196	416,000	628,196	628,196	628,200

静岡県立大学 短期大学部	320		320	157,914	416,000	573,914	570,518	570,500
静岡県立 農林環境専門職 大学短期大学部	200		200	98,696	416,000	514,696	512,574	512,600
三重短期大学	700		700	345,436	416,000	761,436	754,009	754,000
島根県立大学 短期大学部	160		160	78,957	416,000	494,957	493,259	493,300
倉敷市立短期大学	200	30	230	113,500	416,000	529,500	527,060	527,100
大分県立芸術文化 短期大学	680	88	768	378,993	416,000	794,993	786,844	786,800
鹿児島県立短期大学	570		570	281,284	416,000	697,284	691,236	691,200
合計<2022.10 総会ベース >(旭川短大除く。)	4,940	118	5,058	2,496,022	5,824,000	8,320,022	8,271,768	8,271,800
合 計	5,090	118	5,208	2,570,044	6,240,000	8,810,044	8,760,199	8,760,200

議案8 令和5年度予算概算(一部修正案)について

一部修正のうえ承認

議案9 今後の日程(案)について

次のとおり日程が追加了承

「第73回(秋季)通常総会」 令和5年10月23日(月)(1日間)

「第54回公立短期大学事務職員中央研修会」 令和5年8月2日(水)(1日間)

「第42回公立短期大学幹部研修会」 令和6年1月22日(月)(1日間)

報告事項

(1) 大学ポートレートにおける取組状況等について(柳沢先生)

(2) 男女共同参画社会の形成の促進状況について(村井先生)

(3) 令和6年度大学、短期大学等の卒業等予定者に係る就職について(坂元先生)

(2) 令和5年度第73回(秋季)通常総会 令和5年10月23日(月)

①学長及び会員である短期大学を代表する者について

No	短期大学名	学長	会則による 会員である短期大学を代表する者	
			職名	氏名

1	公立大学法人旭川市立大学 旭川市立大学短期大学部	三上 隆	学長	三上 隆
2	公立大学法人岩手県立大学 岩手県立大学宮古短期大学部	鈴木 厚人	学長	鈴木 厚人
3	公立大学法人岩手県立大学 岩手県立大学盛岡短期大学部	鈴木 厚人	学長	鈴木 厚人
4	山形県公立大学法人 山形県立米沢女子短期大学	阿部 宏慈	学長	阿部 宏慈
5	公立大学法人会津大学 会津大学短期大学部	宮崎 敏明	短期大学部長	鈴木 秀子
6	川崎市立看護短期大学	坂元 昇	学長	坂元 昇
7	大月市立大月短期大学	柳沢 幸治	学長	柳沢 幸治
8	岐阜市立女子短期大学	畑中 重光	学長	畑中 重光
9	静岡県公立大学法人 静岡県立大学短期大学部	尾池 和夫	短期大学部長	永倉 みゆき
10	静岡県立農林環境専門職大学 短期大学部	鈴木 滋彦	学長	鈴木 滋彦
11	三重短期大学	村井 美代子	学長	村井 美代子
12	公立大学法人島根県立大学 島根県立大学短期大学部	山下 一也	副学長	岩田 英作
13	倉敷市立短期大学	安達 励人	学長	安達 励人
14	公立大学法人 大分県立芸術文化短期大学	小手川 大助	学長	小手川 大助
15	鹿児島県立短期大学	飯干 明	学長	飯干 明

② 議事概要

令和5年10月23日(月)に、東京 AP 虎ノ門会議室においてを開催。総会には全15大学(3大学はオンライン参加)の学長・事務局長32名が参加した。

午前11時に開会し、柳沢会長の挨拶の後に来賓の文部科学省高等教育局大学教育・入試課課長補佐中村栄作氏から挨拶と「短期大学を取り巻く高等教育政策の状況について」説明があり、その中では、今後の急速な少子化に伴う18歳人口の減少等を踏まえた高等教育の適正な規模と目指すべき姿などについて、9月25日に中教審へ諮問が行われたことについても言及があった。

総会議事では、公短協の(1)令和6年度事業計画、(2)令和6年度予算編成及び会費、(3)次期役員の選出等について審議・承認されたほか、このたびの中教審への諮問に関連して、その審議状況を見極めつつ短期大学の現状や今後のあるべき姿などについて議論し、中教審へ意見を届けていくことについても確認がなされた。

「研究協議 1」では、ChatGPT の教育への導入が進められつつある現状を踏まえ、言語脳科学者である東京大学大学院総合文化研究科(教授)酒井邦嘉先生から「生成 AI の教育利用への課題」について講演があったのち、生成 AI の問題点等に関連して活発な意見交換が行われた。

「研究協議2」の学長の実践事例発表では、山形県立米沢女子短期大学学長阿部宏慈先生からは公立の女子短期大学のあり方などについて、また、川崎市立看護短期大学学長坂元昇先生からは地域包括ケアシステム等を目指して4大化を進めてきた経緯などについて発表があり、大変に活発な意見交換が行われた。

「研究協議3」の各大学から提案された課題の協議では、①旭川市立大学短期大学部、②山形県立米沢女子短期大学、③大月市立大月短期大学、④大分県立芸術文化短期大学、⑤鹿児島県立短期大学からの提案について、それぞれ意見交換が行われた。

最後に、本年度をもって4大化が完了し、公短協を退会することとなる川崎市立看護短期大学学長坂元先生から退会の挨拶があり、16時45分に柳沢会長の閉会の挨拶をもって終了した。(了)

③ 個別議案について

1. 審議事項

- (1) 令和 6 年度事業計画について(原案通り承認)
- (2) 令和 6 年度予算編成方針について(原案通り承認)
- (3) 令和 6 年度予算概算について(原案通り承認)
- (4) 令和 6 年度会費について(原案通り承認)
- (5) 平成 6 年度第 74 回(春季)通常総会開催日程等について(原案通り承認)
- (6) 令和 6 年度以降の通常総会における研究・協議について(原案通り承認)
- (7) 次期役員の選出等について(原案通り承認)
- (8) 公立短期大学のガバナンスのあり方について(会長から提案・承認)

大学のガバナンスコードは、国立大学法人については国においてその策定が義務付けられ、私立大学については、国の検討会議等でその策定について言及がなされたことを受けて、それぞれの大学団体がガバナンスコードを策定。

また、公立大学については、その社会的責任を果たし多様なステークホルダーとの信頼関係をさらに確かなものとする等ことを目的にして、公立大学協会において本年 1 月 30 日に「公立大学ガバナンスコード」を策定。

公立短期大学は、それぞれの設置自治体の政策に基づいて設置された地域の教育機関であり、その社会的責務を果たさねばならないという基本理念は、公立大学(4大)とも共通の立場にあること。

そこで、公立短期大学においては、公立大学協会の策定した「公立大学ガバナンスコード」を参考にして、4年制大学と短期大学の違いや、また、それぞれの大学ごとの個別の事情を勘案しながら、各大学が自主的・自律的にガバナンス体制を構築する。

(公立短期大学協会としての独自のガバナンスコードは策定しない。)

(9) 今後の日程等について(原案通り承認)

2. 報告事項

(1) 各委員等報告

- ① 大学ポートレートの現状について(柳沢先生から報告)
- ② 就職問題懇談会について (阿部先生から報告)
- ③ 全国学生調査について(安達先生から報告)
- ④ 活力ある公立大学のあり方に関する研究会について(塚越局長から報告)
- ⑤ 卒業生の受入先企業・団体等へのアンケート結果について(塚越局長から報告)

(2) 要望・意見等

- ① 公立短期大学に対する地方交付税措置についての要望書(塚越局長から報告)
- ② 中央教育審議会(9.25 諮問) への今後の対応について(会長から提案・了承)

去る9月25日に、「急速な少子化が進行する中での将来社会を見据えた高等教育の在り方について」盛山文部科学大臣から中央教育審議会に諮問された。

諮問理由では、急速な少子化の進行を背景にして、高等教育全体の適正な規模、設置者の枠を超えた連携・再編・統合、設置者別・機関別の役割分担など、今後の高等教育の抜本的な構造改革にかかわる事項が挙げられている。

よって、今後の中教審の審議状況に応じて、公立短期大学の現状や今後のあるべき姿などについて、学長先生方からご意見をいただき議論する場を設け、検討結果を中教審へ届けていくことを考えたい。

(3) 会務報告(主な発信文書等一覧)(塚越局長から報告)

3. その他(「研究協議 3.各校提案議題」に関連して)

大分県立芸術文化短大の提案について、下記のようなことが柳沢会長から提案され、今後、公短協において検討することが了承された。

- ① 対応事例集などを作成する。(研修会の動画作成を含め、オンデマンド配信することも検討。)
- ② 検討が必要な事案が生じた場合、提案大学からの要請を受けて、機動的に各会員校の担当者が集まり、案件を検討できる場の設置。

2) 監事監査

【監事会(会計監査)】 令和5年4月17日(月)

令和5年4月17日(月)13時から、坂元監事及び小手川監事による監事監査がweb会議(ホスト会場;公短協事務局)により実施され、令和4年度決算について、令和4年度事業報告(案)及び令和4年度決算報告書(案)の帳簿、証拠書類、預金残高証明等の照合等による監査の結果、適正であることが認められた。

<出席者一覧>

会 長	大月市立大月短期大学	学 長	柳沢 幸治
監 事	川崎市立看護短期大学	学 長	坂元 昇
	大分県立芸術文化短期大学	学 長	小手川 大助
会長校局長	大月市立大月短期大学	事務局長	小林 令子
	公短協事務局	事務局長	塚越 義行
		事務局員	中村 康子

3) 理事会(第1回～第4回)、正副会長会議(第1回～第7回)、

【第1回理事会】

1.日 時 令和5年4月24日(月) 15:00～16:00

2.場 所 Zoom によるウェブ会議(ホスト会場は公短協事務局)

3.出席者

会 長(大月市立大月短期大学学長)	柳沢 幸治
副 会 長(山形県立米沢女子短期大学学長)	阿部 宏慈
副 会 長(三重短期大学学長)	村井美代子
理 事(岩手県立大学宮古短期大学部学長)	鈴木 厚人
理 事(岩手県立大学盛岡短期大学部学長)	鈴木 厚人
理 事(岐阜市立女子短期大学学長)	畑中 重光
理 事(倉敷市立短期大学学長)	安達 励人
監 事(川崎市立看護短期大学学長)	坂元 昇
監 事(大分県立芸術文化短期大学学長)	小手川大助
会長校(大月市立大月短期大学) 事務局長	小林 令子
山形県立米沢女子短期大学 事務局長	渡辺 博幸

三重短期大学
全国公立短期大学協会

事務局長 前田 達
事務局長 塚越 義行

<議 案>

1. 次期役員の選任等について(案)

(1) 監事の選出について

監事坂元昇氏(川崎市立看護短期大学学長)の後任者は、令和4年度(春季)通常総会において選出すること。

(2) 理事等の選出について

① 理事の選出について

鈴木滋彦氏(静岡県立農林環境専門職大学短期大学部学長)を理事の適任者とし総会に推薦しお諮りする。

② 理事代理について

飯干明氏(鹿児島県立短期大学)を理事候補者として会長に推薦する(会長は推薦に基づき総会時に理事代理を指名)。

(3) 顧問について

該当なし。

2. 功労者表彰について(案)

川崎市立看護短期大学学長 坂元昇氏を学長表彰者とする。

3. 入会について(案)

会員として次のとおり承認

○名 称 旭川大学短期大学部

○代表する者 旭川大学短期大学部学部長(学長)藤原 潤一

○入 会 時 期 令和5年度

4. 令和4年度事業報告(案)について

原案通り承認

5. 令和4年度決算報告(案)について

原案通り承認

6. 令和5年度事業計画、令和5年度予算概算及び会費等について

以下について、原案通り承認

① 令和5年度事業計画(一部修正案)について

○第73回(秋季)通常総会の日程 令和5年10月23日(月)(1日間)

○第42回公立短期大学幹部研修会の日程 令和6年1月22日(月)(1日間)

○全国規模の企業アンケートを、会員校の協力を得て実施すること。

候補企業の e-mail リスト(各校 100 団体程度提出)

② 令和5年度予算編成方針(一部修正案)について

令和5年度の新規会員の会費は、「会費総額」に加算する。

③ 令和5年度予算概算(一部修正案)について

新規会員の会費増額分は、予備費に計上する。

④ 令和5年度会費(一部修正案)について

各会員校の会費額は、R4年度の「公短協の在り方検討委員会」報告の額とする。

7. 令和5年度 第73回(春季)通常総会について

原案通り承認された。

8. 今後の日程について(案)

原案通り承認された。

9. その他

特になし

【第2回理事会】

1. 日 時 令和5年8月25日(金)～

2. 開催方法 e-mailによる持回り開催

「審議書」は、8月30日(水)午前中までに提出

3. 出席者

会 長(大月短期大学学長)	柳沢 幸治
副 会 長(三重短期大学学長)	村井美代子
副 会 長(山形県立米沢女子短期大学学長)	阿部 宏慈
理 事(岩手県立大学宮古短期大学部学長)	鈴木 厚人
理 事(岩手県立大学盛岡短期大学部学長)	鈴木 厚人
理 事(静岡県立農林環境専門職大学短期大学部学長)	鈴木 滋彦
理 事(倉敷市立短期大学学長)	安達 励人
監 事(岐阜市立女子短期大学学長)	畑中 重光
監 事(大分県立芸術文化短期大学学長)	小手川大助
各役員校	事務局長
全国公立短期大学協会	事務局長 塚越 義行

4. 議 題

(1) 令和6年度事業計画について(案) 資料1

(2) 令和6年度予算編成方針について(案) 資料2

(3) 令和6年度予算概算(案) 資料3

(4) 令和6年度会費について(案) 資料4 資料4(参考)

<資 料>

資料1 令和6年度事業計画について

資料2 令和6年度予算編成方針について

資料3 予算概算について

資料4 令和6年度会費について

資料4(参考) 学生定員の推移と今後の動向(見込み)

【第3回理事会】

1. 日 時: 令和5年10月13日(金)13:00~13:40

2. 開催方法: ウェブ会議(Zoomにて開催)ホスト会場は公短協事務局

会 長 (大月短期大学学長)	柳沢 幸治
副 会 長 (三重短期大学学長)	村井美代子
副 会 長 (山形県立米沢女子短期大学学長)	阿部 宏慈
理 事 (岩手県立大学宮古短期大学部学長)	鈴木 厚人
理 事 (岩手県立大学盛岡短期大学部学長)	鈴木 厚人
理 事 (静岡県立農林環境専門職大学短期大学部学長)	鈴木 滋彦
理 事 (倉敷市立短期大学学長)	安達 励人
監 事 (岐阜市立女子短期大学学長)	畑中 重光
監 事 (大分県立芸術文化短期大学学長)	小手川大助
会長校(大月短期大学)	事務局長 小林 令子
全国公立短期大学協会	事務局長 塚越 義行

4. 議 題:

(1) 令和5年度第73回(秋季)通常総会について

以下の案件を秋季通常総会(10/23)にお諮りすることが承認。

①第73回(秋季)通常総会開催要項について

②令和6年度事業計画について

③令和6年度予算編成方針について

④令和6年度予算概算について

⑤令和6年度会費について

⑥令和6年度第74回(春季)通常総会の開催日程について

⑦令和6年度以降の通常総会における研究・協議について

⑧次期役員の選出について

⑨公立短期大学のガバナンスについて

⑩総会への報告事項(各委員からの報告等)

(2) 今後の日程

- ・ 今後の日程について確認されました。

(3) その他

- ・ 中央教育審議会への諮問(9/25)について、審議状況を見極めつつ公短協としての意見を中教審に届けることとされた。
- ・ 企業・団体等に対するアンケート結果について報告された。

【第4回理事会】

1. 日 時： 令和5年11月21日(火)～27日(月)

2. 開催方法： e-mail による持回り開催(「審議書」による)

3. 出席者： 理事及び監事

会長校(大月短期大学)事務局長、公短協事務局長

4. 議 案： (報告事項)

下記議案について、令和5年11月20日(月)開催の正副会長会議から報告がなされ、了承された。

【1】事務局職員の給与改定について

令和5年度には公務員給与について大幅な人事院の改善勧告が行われたことや公短協の職員給与は当分の間給与改定を行っていないこと(局長は平成24年度以降、事務職員平成29年度以降)から、公務員の平均改定率を考慮して、局長は1.1%、事務職員は1.6%の給与改定を行うこと。

改定は、これまでに承認されている「職員費予算」額の範囲において、行うことと(予算運用上の扱い)。

【2】会員校から提案された個別協議課題等の対応について

会員校から協議課題等が提案された場合、会長において当該課題が会員校間において協議することが適当と認めた場合には、当該課題についての検討会を適宜に設置することなど、その手順について「実施要領」が定められた。

【3】研修会講演等の録画及びオンデマンド配信について

今後検討を進めることとされた。

【4】インボイス制度への対応について

公短協は現在「免税事業者」ですが、インボイス発行事業者になると、新たに消費税の納税義務が生じる(歳入の減少となる)ことや複雑な税額控除計算の事務が生じることとなり、予算規模が小さく事務組織の脆弱な公短協にとって負担が大きいことから、当面は、登録・申請は行わない方針とされた。

【第1回正・副会長会議】

1. 日 時 令和5年4月24日(月)11:00～12:00
2. 開催方法 ウェブ会議(Zoomにて開催)ホスト会場は公短協事務局
- 3.出席者

会 長 (大月短期大学学長)	柳沢 幸治
副 会 長 (三重短期大学学長)	村井美代子
副 会 長 (山形県立米沢女子短期大学学長)	阿部 宏慈
会長校(大月短期大学)	事務局長 小林 令子
全国公立短期大学協会	事務局長 塚越 義行

4. 審議事項

- (1) 入会(案)について(旭川大学短期大学部)
- (2) 功労者表彰(案)について
- (3) 令和4年度決算報告(案)について
- (4) 令和5年度事業計画、令和5年度予算概算及び会費等について
 - ①令和5年度事業計画(案)について(一部修正案)
 - ②令和5年度予算編成方針(案)について(一部修正案)
 - ③令和5年度予算概算(案)について(一部修正案)
 - ④令和5年度会費(案)について(一部修正案)
- (5) 令和5年度 第73回(春季)通常総会(案)について
- (6) 今後の日程(案)について
- (7) その他

【第2回正・副会長会議】

1. 日 時 令和5年7月4日(火)13:00～14:00
2. 開催方法 ウェブ会議(Zoomにて開催)ホスト会場は公短協事務局
- 3.出席者

会 長 (大月短期大学学長)	柳沢 幸治
副 会 長 (三重短期大学学長)	村井美代子
副 会 長 (山形県立米沢女子短期大学学長)	阿部 宏慈
会長校(大月短期大学)	事務局長 小林 令子
全国公立短期大学協会	事務局長 塚越 義行

4. 審議事項

- (1)企業・団体等へのアンケート調査について
 - ① アンケートの実施要領・日程について

- ② アンケートの調査項目について
- (2) 第 54 回事務職員中央研修について
- (3) 令和 5 年度実態調査のオンライン化について
- (4) その他

<資料>

- 資料 1 アンケート調査要領(案)
- 資料 2 企業等へのアンケート依頼文(案)
- 資料 3 様式 1 アンケート調査様式(案)
- 資料 4 様式 2 企業名簿(様式)(案)
- 資料 5 中央研修会 開催要項(案)
- 資料 6 実態調査表作成 依頼

【第3回正・副会長会議】

1. 日 時 令和 5 年 8 月 24 日(木)11:00～12:00
2. 開催方法 ウェブ会議(Zoom にて開催)ホスト会場は公短協事務局
3. 出席者

会 長 (大月短期大学学長)	柳沢 幸治
副 会 長 (三重短期大学学長)	村井美代子
副 会 長 (山形県立米沢女子短期大学学長)	阿部 宏慈
会長校(大月短期大学)	事務局長 小林 令子
全国公立短期大学協会	事務局長 塚越 義行

4. 審議事項

- (1) 令和 6 年度事業計画について
- (2) 令和 6 年度予算編成方針・予算概算について
- (3) 令和 6 年度会費について
- (4) 令和 5 年度事務職員中央研修会の開催結果について(報告)
- (5) 企業・団体等へのアンケート調査について(現況報告)
- (6) 活力ある公立大学のあり方に関する研究会について(報告)
- (7) 公短協事務局長の任期更新について
事務局長 塚越義行(更新任期 3 年)R5.11.1～
- (8) その他
 - ① 人事院の給与勧告と公短協事務職員の給与について
 - ② ガバナンスコード(公大協)

<資料>

資料 1 令和 6 年度事業計画(案)

資料 2 令和 6 年度 予算編成方針(案)

資料 3 令和 5 年度予算概算(案)

資料 4① 令和 6 年度会費(案)

資料 4② 学定員の推移と今後の動向<旭川短大入り>2023.4 以降

資料 5①-1 中央研修会 開催要項 7.31 案

資料 5①-2 中央研修会 参加者名簿

資料 5② 中央研修受講者アンケート 全体集計(Forms)

資料 5③ 中央研修受講者アンケート 記述意見

【第4回正・副会長会議】

1. 日 時: 令和5年9月22日(金)13:00~14:00
2. 開催方法: ウェブ会議(Zoomにて開催)ホスト会場は公短協事務局
3. 出席者:
 - 会 長(大月短期大学長) 柳沢幸治
 - 副会長(山形県立米沢女子短期大学長)阿部宏慈
 - 副会長(三重短期大学長) 村井美代子
 - 大月短期大学(会長校) 事務局長 小林令子
 - 公短協事務局長 塚越義行
4. 議 題:
 - (1) 令和5年度第73回(秋季)通常総会について
 - ① 第73回(秋季)通常総会開催要項について
 - ② 令和6年度事業計画について
 - ③ 令和6年度予算編成方針について
 - ④ 令和6年度予算概算について
 - ⑤ 令和6年度会費について
 - ⑥ その他(総会への報告事項として)
 - ・大学ポートレート運営会議について(柳沢先生)
 - ・就職問題懇談会について(阿部先生)
 - ・男女共同参画推進連携会議について(村井先生)
 - ・全国学生調査に関する有識者会議について(安達先生)
 - ・企業・団体等へのアンケート結果について(塚越局長)
 - ・活力ある公立大学のあり方に関する研究会について(塚越局長)
 - ・地方交付税措置についての総務省あて要望書(塚越局長)

- (2) 令和6年度第74回(春季)通常総会の開催日程について
- (3) 令和6年度以降の通常総会における研究・協議について
- (4) 次期役員の選出について
- (5) 公立短期大学のガバナンスについて(柳沢先生)
- (6) 今後の日程
- (7) その他
中教審への諮問について

<資料>

- 1 令和5年度第73回(秋季)通常総会開催要項(案)
- 2 令和6年度事業計画について(案)
- 3 令和6年度予算編成方針について(案)
- 4 令和6年度予算概算(案)
- 5 令和6年度会費(案)
- 6 大学ポートレートの現状について
- 7 就職・採用活動日程ルールの見直しの概要
- 8 全国学生調査に関する有識者会議について(仮題)
- 9 公立短期大学卒業生の受入先企業・団体等へのアンケート結果(案)
- 10 活力ある公立大学のあり方に関する研究会 報告書骨子(案)
- 11 公立短期大学に対する地方交付税措置についての要望書
- 12 令和6年度第74回(春季)通常総会の開催日程等について(案)
- 13 令和6年度以降の通常総会における研究・協議について(案)
- 14 次期役員の選出について(案)
- 15 公立大学ガバナンスコード(公立大学協会)
- 16 今後の日程について(案)
- 17 急速な少子化が進行する中での高等教育の在り方(中教審)

【第5回正・副会長会議】

- 1. 日 時: 令和5年11月20日(月)11:00～11:40
- 2. 開催方法: ウェブ会議(Zoomにて開催)ホスト会場は公短協事務局
- 3. 出席者:
 - 会 長(大月短期大学長) 柳沢幸治
 - 副会長(山形県立米沢女子短期大学長)阿部宏慈
 - 副会長(三重短期大学長) 村井美代子
 - 大月短期大学(会長校) 事務局長 小林令子

公短協事務局長 塚越義行

4. 議 題:

- (1) 事務局職員の給与改定について
- (2) 会員校から提案された個別協議課題等の対応について
- (3) 研修会講演等の録画及びオンデマンド配信について
- (4) インボイス制度への対応について
- (5) その他

<資料>

- 資料 1-1 公短協事務職員の給与改定について(案)
- 資料 1-2 年度別歳入・歳出状況と見込み H30～R5
- 資料 1-3 公短協事務局の勤務体制・処遇等について(一部改正案)
- 資料 1-参考 人事院勧告 別紙第3(抜粋)
- 資料 2 会員校から提案された個別協議課題等の対応について(実施要領)
- 資料 3-1 インボイス制度への対応について(案)
- 資料 3-2 仕入れ税額控除の計算(イメージ)
- 資料 3-3 インボイス制度に関する Q&A

【第6回正・副会長会議】

- 1. 日 時: 令和6年1月29日(月)11:00～11:30
- 2. 開催方法: ウェブ会議(Zoomにて開催)ホスト会場は公短協事務局
- 3. 出席者:

会 長(大月短期大学長) 柳沢幸治
副会長(山形県立米沢女子短期大学長) 阿部宏慈
副会長(三重短期大学長) 村井美代子
大月短期大学(会長校) 事務局長 小林令子
公短協事務局長 塚越義行

4. 議 題:

- (1) 事務局職員の就業規則等の一部改正について
- (2) その他

<資料>

- 資料 1 採用時の労働条件の明示(厚生労働省)
- 資料 2 追加された労働条件の明示事項(厚生労働省)
- 資料 3 全国公立短期大学協会就業規則(案)
- 資料 4 全国公立短期大学協会職員の労働条件について(案)

【第7回正・副会長会議】

1. 日 時： 令和6年2月27日(火)13:00～14:00
2. 開催方法： ウェブ会議 (Zoom にて開催) ホスト会場は公短協事務局
3. 出席者：(予定者)

会 長(大月短期大学長) 柳沢幸治
副会長(山形県立米沢女子短期大学長) 阿部宏慈
副会長(三重短期大学長) 村井美代子
大月短期大学(会長校) 事務局長 小林令子
公短協事務局長 塚越義行

4. 議 題:

- (1) 次期役員の選任等について
- (2) 令和5年度の決算見込みについて
- (3) 令和6年度事業計画について
- (4) 令和6年度 第74回(春季)通常総会について
- (5) 功労者表彰について
- (6) 情報交換事項のホームページへの掲載について
- (7) その他

- ・就職問題懇談会報告<阿部先生からご報告>
- ・令和5年度 幹部研修会アンケート報告(とりまとめ)
- ・事務職員の採用について
(令和6年2月1日付け採用;任期1年毎、通算3年間を限度)

<資料>

- 資料 1-1 次期役員の選出等について
- 資料 1-2 学長等の任期について (未定稿)
- 資料 1-3 次期役員候補者について(案)
- 資料 2 令和5年度決算見込み額(案)
- 資料 3 令和6年度事業計画について
- 資料 4 第74回(春季)通常総会について
- 資料 5 功労者表彰について(案)
- 資料 6 令和5年度 幹部研修会アンケート(とりまとめ)

4) 事務局長等会議

1. 日 時： 令和 5 年 6 月 16 日 (金) 13:00～14:00
2. 開催方法： ウェブ会議 (Zoom にて開催) ホスト会場は公短協事務局
3. 出席者： (予定者)

2023.6.16 事務局長等会議 参加者名簿

1	旭川市立大学 事務局長 守屋 尚子
2	岩手県立大学宮古短期大学部 事務局長 長谷川
3	岩手県立大学企画室(盛岡短期大学部) 及川
4	米沢女子短大 事務局 井渕
5	会津大学短期大学部事務室 長峯
6	川崎市立看護短期大学事務局 古谷野
7	大月短期大学 事務局 総務担当 小林
8	岐阜市立女子短期大学 事務局長 久米
9	静岡県立大学短期大学部 岡村
10	静岡県立農林環境専門職大学短期大学部 総務企画課 主査 鈴木涼子
11	三重短期大学事務局 柿内
12	島根県立大学短期大学部 管理課 松下
13	倉敷市立短期大学 事務局長 家守
14	大分県立芸術文化短期大学 教務学生部主幹 神崎
15	鹿児島県立短期大学事務局 総務課 奥村

4. 議 題:

公立短期大学の卒業生の受入先企業・団体等へのアンケート調査について

<調査方法等の概要>

- (1) 目的公立短期大学の卒業生が就職した企業・団体等においてどのような職に就いているのか、また、受入企業が公立短期大学にどのようなことを期待しているのかなどを把握し、今後の公立短期大学の学生指導や教育の参考にすることを目的とする。

過去 3 年程度の期間について想定

- (2) 実施手順

- ① 各公立短期大学からは、卒業生の就職先企業名・所在地等について、電子データにて提出していただくこと。
 - ・就職者数が 100 人程度の大学に在っては 60 社程度
 - ・就職者数が 200 人以上の大学に在っては 100 社程度以上 を目安

- ② 公短協は、提出いただいた名簿に基づき、各企業宛ての宛名データを整理の上、封書に宛て名を印刷し、各企業宛てにアンケートの依頼通知を発送すること。
- ③ アンケートはオンラインで実施
(google Forms 等にて実施、集計は Excel にて行うことを想定)
- (3) アンケートの集計・公表
アンケートの集計は公短協において行う。
集計結果は、全体の集計と、就職先の卒業生がいる短期大学ごとの集計を行い、短期大学ごとの集計結果は会員校に情報還元する。短期大学ごとの集計結果は公表しない。
全体の集計結果は、各公立短期大学及び回答いただいた企業に還元するとともに公短協ホームページに掲載・公表する。
- (4) 実施時期
今後、正副会長会議(6 月下旬の)にお諮りする。6 月下旬には会員校に名簿提出の依頼をし、7 月中旬ころに各大学から名簿の提出をいただき、7 月下旬に企業宛て発送、9 月中には集計することを想定。

<資料>

- 資料 1 様式 1 アンケート調査様式(案)Excel 版
資料 2 様式 2 企業名簿(様式)
資料 3 要領 アンケート調査要領

2. 研修会

1) 第 54 回事務職員中央研修会

8 月 2 日(水)に事務職員中央研修会を開催した。Web 参加 23 名、会場参加 9 名を合わせて 32 名が参加した。

研修会は午前 10 時 20 分に開会し、冒頭の柳沢会長の挨拶につづいて、来賓の文部科学省大学教育・入試課課長補佐中村栄作氏から挨拶があり、同氏からは 18 歳人口が急速に減少することが見込まれる中で大学がどうあるべきかなどの課題について言及があった。

午前の行政説明においては、大学教育・入試課大学入試室入試第二係長首藤彩香氏による「大学入学者選抜改革等の動向について」では、令和 6・7 年度大学入学者選抜、高大接続の現状、教学マネジメント指針(追補)の入学者受入れの方針などについて、また、大学教育・入試課短期大学係主任牧野華子氏からの「短期大学制度及び短期大学を巡る文教政策の状況について」では、短大制度の沿革・概要をはじめ昨今の大学設置基準の改正における基幹教員制度等、今後の大学分科会の審議などについて、それぞれ資料に

に基づき説明が行われた後に質疑が行われた。

午後からの「情報交換会」では、各大学から提案された①学務・学生支援業務関係、②管理運営関係などの分野にわたる22の課題について、研修参加者相互において熱心に情報交換が行われた。

午後の行政説明では、研究振興局学術研究推進課課長補佐林史晃氏による「科研費の最近の動向」では、事業の概要のほか制度改革など最近の動向、科研費の適切な執行等について、また、高等教育局学生支援課厚生係長玉川雄大氏の「学生支援を巡る状況について」では、経済的支援、メンタルヘルスケアや障害学生支援等について、それぞれ資料に基づき説明が行われた後、質疑が行われた。また、(公・財)大学基準協会調査研究部企画・調査研究課係長加藤美晴氏からの「認証評価について」では、質保証システムについて内部質保証とそのポイントなどについて評価実績例なども示しながらの説明の後、質疑が行われた。

以上の後、柳沢会長の挨拶をもって研修会を終了した。(了)

日 程

時間	事項	講師等
10:20～10:30	開会挨拶	全国公立短期大学協会 会長(大月短期大学長) 柳沢幸治
10:30～10:40	来賓あいさつ(文部科学省)	高等教育局 大学教育・入試課 課長補佐 中村 栄作 氏
10:40～11:20	大学入学者選抜改革等の動向について	高等教育局 大学教育・入試課 大学入試室 入試第二係長 首藤 彩香 氏
11:20～12:00	短期大学制度及び短期大学を巡る 文教政策の状況について	高等教育局 大学教育・入試課 短期大学係 主任 牧野 華子 氏
12:00～13:00	昼休み	
13:00～13:40	情報交換会①	研修生(提案課題による。)
13:40～14:20	情報交換会②	研修生(提案課題による。)
14:20～15:00	科研費の最近の動向	研究振興局 学術研究推進課 課長補佐 林 史晃 氏
15:00～15:15	休憩	

15:15～15:55	学生支援を巡る状況について	高等教育局 学生支援課 厚生係長 玉川雄大 氏
15:55～16:35	認証評価について	(公・財)大学基準協会 調査研究部 企画・調査研究課 係長 加藤美晴 氏
16:40	閉会挨拶	全国公立短期大学協会 会長(大月短期大学長) 柳沢幸治

参加者名簿

	課・係／職名	氏名
旭川市立大学短期大学部	学生支援課／課長	窪田 さやか
	学生支援課／主任	山越 久美子
	総務課／課長	小川 春菜
	入試広報課／課長	窪田 貴文
	入試広報課／主事	川崎 龍平
	地域連携センター／主任	村井 理
	地域連携センター／主事	小暮 嘉樹
岩手県立大学宮古短期大学部	宮古事務局主事	佐々木 俊介
	宮古事務局主事	佐藤 ゆかの
岩手県立大学盛岡短期大学	教育支援室主幹	荻原 奈々子
	教育支援室主任主査	三輪 陽子
山形県立米沢女子短期大学	総務企画課長	井渕 善洋
会津大学短期大学部	学生係／係長	長峯 由美子
川崎市立看護短期大学	事務局総務学生課生課／課長補佐	五十嵐 博宣
大月市立大月短期大学	事務局・総務担当／主幹	小林 弘典
岐阜市立女子短期大学	総務管理課庶務会計係係長	今瀬 祐也

静岡県立大学短期大学部	総務室長	平井 梢
静岡県立農林環境専門職大学短期大学部	総務企画課班長	鈴木 裕子
	学生課班長	古川 久美子
	総務企画課主査	鈴木 涼子
三重短期大学	学生部主事	鹿取 康平
島根県立大学短期大学部	学務課キャリア・学生支援係主任主事	部田 中希
	管理課主任	松下 裕香
倉敷市立短期大学	事務局学生部／副主任	大羽 智子
大分県立芸術文化短期大学	総務企画グループ／副主幹	平山 聖子
	教務学生グループ／主幹	神崎 大介
鹿児島県立短期大学	学生部次長兼学生課長	吉松 隆昌
	学生部教務課補佐	小濱 さゆり
	学生部教務課主幹(第二部)	幸福 真
全国公立短期大学協会	会長	柳沢 幸治
	事務局長	塚越 義行
	事務局員	中村 康子

2) 第42回幹部研修会

全国公立短期大学協会(会長 柳沢幸治;大月短期大学長)は、令和6年1月22日(月)に東京虎ノ門(AP 虎ノ門会議室)において幹部研修会を開催し、学長、事務局長等40名(会場参加15、ZOOM25名)が参加した。

研修会は、柳沢会長の挨拶につづいて「講演」と「意見交換会」の2部構成で実施された。
 <講演>の部では、大学教育・入試課課長補佐中村栄作氏からは「高等教育を巡る文教政策について」中教審への諮問事項と今後の奨学金制度の改正等の説明、生涯学習推進課リカレント教

育・民間教育振興室長西明夫氏からは「地域と大学の連携について」大学等がリカレント教育で期待される役割等の説明、学術研究推進課企画室長松本昌三氏からは「科研費の最近の動向」について制度の概要と令和 6 年度予算における科研費の内容や制度改善の説明、総務省財務調査課課長補佐神田広貴氏からは「活力ある公立大学のあり方に関する研究会報告書について」地方公共団体と公立大学等の連携についての説明、(独)日本学生支援機構学生生活部長山本有香氏からは「学生生活支援事業と大学・短期大学における障害学生修学支援」について同機構の事業説明が、それぞれ行われ活発な質疑応答が行われた。

<意見交換>の部では、副会長(米沢女子短期大学学長)阿部宏慈氏の司会進行により、会員校から提案され協議題①寮の男女共同化、②学内の Wi-Fi 環境整備、③協議事項の HP 掲載、④教員の労働時間等、⑤大雨特別警報発令時の授業・試験の取扱い、⑥性暴力等に関する相談体制の整備、⑦保護者による任意の組織⑦学生の休憩のためのスペース確保について、提案大学の趣旨説明の後に活発な意見交換が行われた。

<日程>

時 間	内 容	講師等
10:15～	Zoom 入場可	
10:30～ 10:35	Zoom 参加者の確認等	事務局
10:35～ 10:40	開会の挨拶	会長 柳沢 幸治 (大月短期大学長)
10:40～ 11:20	挨拶・講演;行政説明 高等教育を巡る文教政策について	高等教育局 大学教育・入試課 課長補佐 (併)公立大学専門官 中村 栄作 氏
11:20～ 12:00	講演;行政説明 地域と大学の連携について	総合教育政策局 生涯学習推進課 リカレント教育・民間教育振興室 室 長 西 明夫 氏
12:00～ 13:00	(昼食・休憩)	
13:00～ 13:40	講演;行政説明 科研費の最近の動向	研究振興局 学術研究推進課 企画室長 松本 昌三 氏
13:40～ 14:20	講演;行政説明 活力ある公立大学のあり方に関する研究会 報告書について	総務省 自治財政局 公営企業課 課長補佐 (併)財務調査課 課長補佐 神田 広貴 氏
14:20～ 15:00	講演;事業説明 日本学生支援機構の学生生活支援事業と 大学・短期大学における障害学生修学支援	独立行政法人 日本学生支援機構 学生生活部長 山本有香 氏

15:00～ 15:15	休憩(15分)	
15:15～ 16:30	○意見交換会 会員校からの「意見交換会提案協議事項」	会員校研修参加者
16:30	解散	

参加者名簿

短期大学名	職 名	氏 名
旭川市立大学短期大学部	短期大学部(教授)副学長	佐藤 貴虎
	地域連携研究センター事務室 室長兼局長相当職	片平 茂幸
	情報教育センター事務室室長	深山 洋平
	学生支援課課長	窪田 さやか
	学生支援課主任	山越 久美子
	入試広報課課長	窪田 貴文
岩手県立大学宮古短期大学部	宮古短期大学部長	松田 淳
	主幹	大須賀 英春
岩手県立大学盛岡短期大学部	副学長兼事務局長	宮野 孝志
	盛岡短期大学部長	川崎 雅志
山形県立米沢女子短期大学	学長	阿部 宏慈
	事務局長	渡辺 博幸
会津大学短期大学部	学生部長	中澤 真
	事務室長	植田 浩一
川崎市立看護短期大学	事務局長	古谷野 雅司
大月短期大学	学長	柳沢 幸治
	事務局長	小林 令子
	教務部長	槇平 龍宏
	学生部長	内藤 敦之
	図書館長	宮崎 理枝
	キャリア企画部長	佐藤 茂幸
岐阜市立女子短期大学	学長	畑中 重光
	副学長	服部 宏己
	事務局長	久米 規文
静岡県立大学短期大学部	短期大学部部長	永倉 みゆき
	短期大学部副部長	小林 佐知子
静岡県立農林環境専門職大学 短期大学部	学長	鈴木 滋彦
	事務局長	吉永 尚史
三重短期大学	学長	村井 美代子
	事務局長	前田 達
島根県立大学短期大学部	副学長	岩田 英作
	短期大学部長	梶谷 朱美
	事務部長	田中 浩史

倉敷市立短期大学	学生部長	眞次 浩司
大分県立芸術文化短期大学	事務局長	安藤 善之
鹿児島県立短期大学	学長	飯干 明
	事務局長	木場 誠一
	学生部次長兼学生課長	吉松 隆昌
公短協	事務局長	塚越 義行
	事務局員	中村 康子

3. 公立短期大学実態調査の実施及び同報告書の発行

調査表は昭和 39 年から作成しており、①学生、②教職員、③外国の大学との交流、④図書館並びに福利厚生施設、⑤大学予算等、⑥地域貢献等、⑦男女共同参画社会、⑧教員の定年・任期制等の状況、⑨四年制への転換又は再編統合・改組等の検討状況、⑩公立短期大学で取得可能な免許・資格等、⑪認証評価の実施状況の 11 項目。なお、報告書の参考資料には、文部科学省調査「学校基本調査」及び「学校基本調査速報」から公立短期大学関連データを抽出して収録。

「報告書」（第 59 集・A 4 版、155 頁＋参考資料）は、本協会で印刷・製本し、令和 5 年 1 2 月に各大学に送付するとともに関係機関に配布した。また、公立短期大学協会ホームページにも掲載。

なお、本調査は、令和 5 年度からオンライン（One Drive）による調査として、会員校の事務負担軽減を図った。

4. 情報収集・情報提供活動

1) ホームページの作成・管理

従来のホームページを大幅にリニューアルし、平成 29 年 11 月からは、広報委員会ワーキング（H28.7～H30.4）において設計された「公短協ホームページ」により、協会概要のほか公短協からの発信情報、会員校の概要紹介、高等教育に関連した審議会「答申」、大学行政に関連する最新ニュースのほか総会、理事会、研修会等の開催結果を掲載するなど情報提供を充実してきている。

令和 3 年度からは、「会員専用ページ」を設け、総会・研修会等の講演資料などを掲載して情報共有を図った。

令和 4 年度からは、ホームページソフトのメンテナンスの期限が近づいていることから新たにリニューアルを行うとともに、紙ベースの共通パンフレット『公立短期大学進学ガ

イド』を廃止しホームページに統合（第72回春季通常総会決定）するとされたこと踏まえ、この掲載情報を統合した。また、リニューアルに際しては、高校生など若者はスマホで情報検索をしている情勢を踏まえ、スマホに対応した画面とした。

令和5年度からは、会員専用ページに「情報交換」のページを設けて、春・秋の総会、中央研修会、幹部研修会等において会員校から提出された「協議課題」の一覧とその回答内容をリンクさせて掲載し、情報共有の充実を図った。

2)関係機関等への意見表明

●公立短期大学の概要・地域貢献の課題

活力ある公立大学のあり方に関する研究会 宛て

＜総務省及び地方公共団体金融機構共催＞（第5回研究会(2023.5.25)において発表）

令和5年5月25日

全国公立短期大学協会 事務局長 塚越義行

＜背景＞

本資料における各大学の地方貢献については、会員校から現状の地方貢献に関する資料を提出(令和4年12月)していただき、これを取りまとめて編集したものである。

なお、同研究会は、総務省自治財政局財務調査課及び地方公共団体金融機構地方支援部が共催して設置したもので、令和4年10月から令和5年10月までの間において7回にわたって開催され、令和5年12月に「報告書」がまとめられた。

目的は、公立大学が地域に根差した教育・研究機関として地域人材の育成、地域課題の解決、研究力の強化という役割を果たしていくために研究成果を上げられる環境を整え支援することを目的として、その研究成果を高める課題等を明らかにし、その課題に対する対応方針を研究するためと位置付けられている。

公立短期大学の概要・地域貢献とその課題

全国公立短期大学協会 事務局長 塚越義行

公立短大（15大学）は地域の身近な教育機関で、地元の産業や文化の発展に貢献しています。

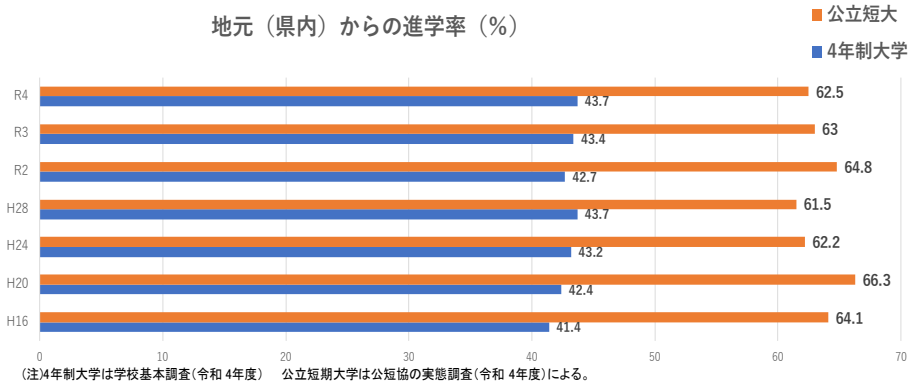
令和5年4月現在 （ ）内は学科入学定員 []は内数で二部の入学定員

設置者区分	県立 （2校）	市立 （5校）	公立大学法人立 （8校）
東北（4校）			旭川大学短期大学部（50） 岩手県立大学宮古短期大郷（100） 岩手県立大学盛岡短期大郷（100） 山形県立米沢女子短期大学（250） 会津大学短期大学部（150）
関東・中部・近畿（6校）	静岡県立農林環境専門職大学短期大学部（100）	川崎市立看護短期大 大月市立大月短期大学（200） 岐阜市立女子短期大学（200） 三重短期大学（350）（100）	静岡県立大学短期大学部（140）
中国・九州（4校）	鹿児島県立短期大（55） （60）	倉敷市立短期大学（100）	島根県立大学短期大学部（80） 大分県立芸術文化短期大学（340）

（注1）川崎市立看護短期大学は、4年制大学へ移行のためR3年度から学生募集を停止

1

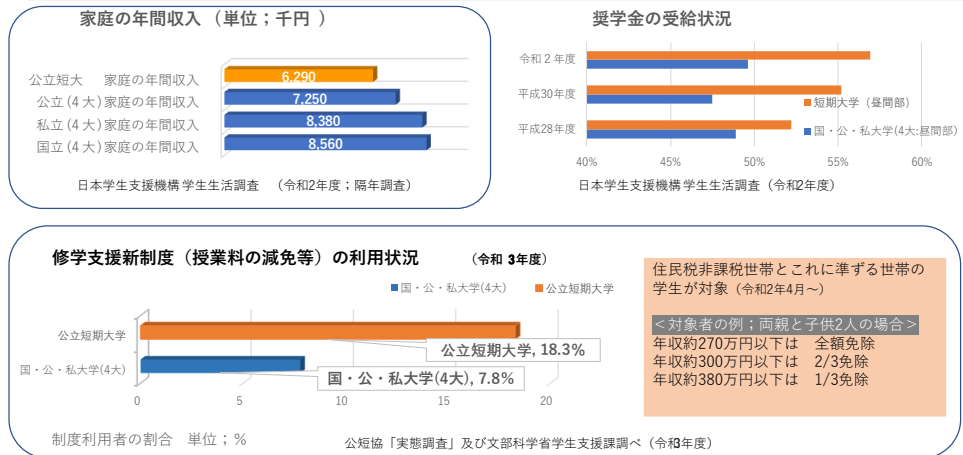
公立短大は、地元（県内）からの進学率が高いのが特徴です。



公立短大に入学した理由について、全大学の学生へのアンケート結果によれば「**経済的に、学費が安く抑えられること**」が70.2％で飛びぬけて高く、また、「**2年で自立できること**」が34.5％、「**専門の職業資格が取れること**」が37.9％となっており（以上重複回答）、家庭の年間収入が低いこと、早く仕事に就きたいという目的意識が高いことが伺えます。（公短協の平成25年度調査結果）

2

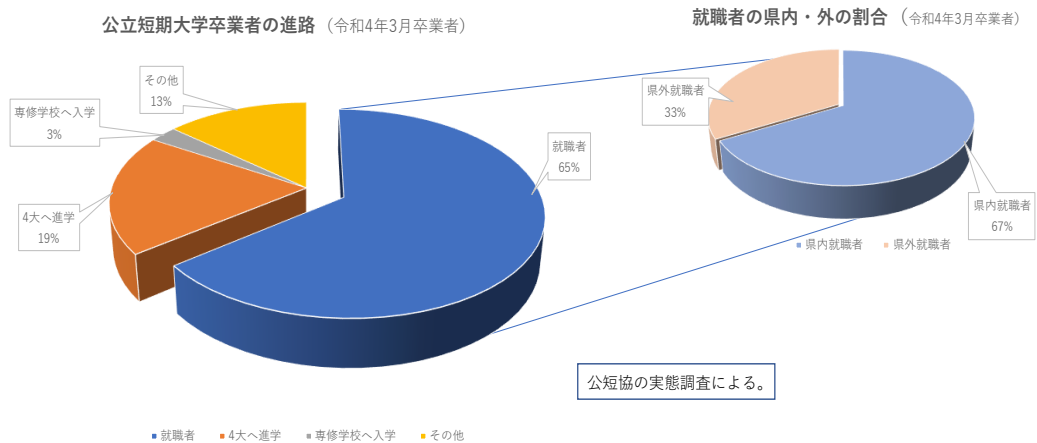
公立短大生は、家庭の収入が低く奨学金や授業料減免を受ける割合が高くなっています。



公立短期大学は、低所得世帯の受け皿となっていることも大きな役割です。（学費は、卒業までの2年間で約110万円と安く抑えられています。）

3

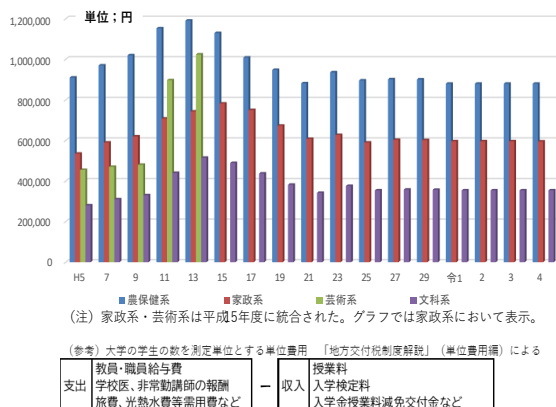
公立短大の卒業者の多くが地元（県内）に就職し、地元貢献しています。



4

地方交付税の単位費用

公立短期大学の教育に係る単位費用の推移



学生/教員比率

教員一人当たりの学生数 S/T比率

区分	学生数/教員数 (非常勤講師除く。)
国立大学(4大)	9.4人
公立大学(4大)	11.2人
公立短期大学	13.6人

学校基本調査(令和4年度)による。

(注1) 4大学生には、学部生のほか、大学院、専攻科、別科、科目履修生、聴講生、研究生を含む。

(注2) 短大学生には、本科生のほか、専攻科、別科、科目履修生、聴講生、研究生を含む。

公立短大の教員は、4大に比べて、教員一人当たりの教育負担が大きくなっています。

5

岩手県立大学宮古短期大学部の事例(入学定員100、教員18、職員10)

-防災に対する取組は使命-

東日本大震災津波などの被害を受けている宮古市にあって、「学ぶ防災ツアー」、「防災講義」などの教育、防災に係わる研究、社会貢献は使命。

復興研究等

地域政策研究センターの復興研究の「産業経済分野」において「水産業の再編強化と新規産業の立地による産業復興と雇用の再建」のテーマで研究。
①水産業の再編の強化、②ものづくり産業の新規立地などについて、地元経営者や関係者、宮古市との研究協議。

復興計画策定への参画

県、宮古市及び山田町商工会等の復興計画策定委員会など、大震災からの地域の復興計画策定に参画。



出典: 宮古市「東日本大震災宮古市の記録 第1巻 津波史編(概要版)」(2014年)



宮古短期大学部



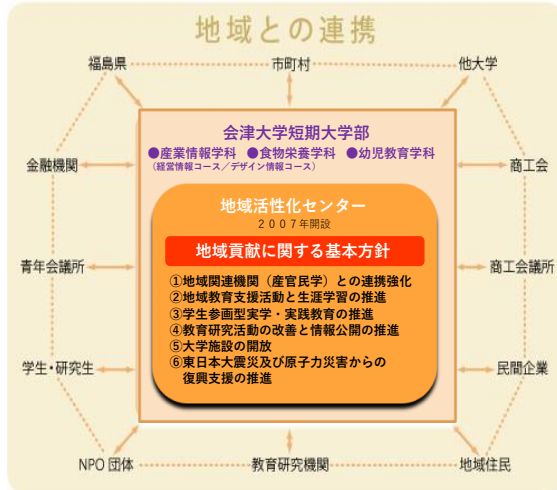
研究成果を発展させ、復旧・復興支援の拠点機能の強化を推進中

防災活動の促進、過去の災害の検証などをテーマに調査研究活動を強化し、立地や設備上の強みを生かして、地域の自治体や岩手県など関係機関と連携、防災復興支援の拠点施設としての機能の強化を推進中。

6

会津大学短期大学部の事例(入学定員150、教員33、職員13)

地域活性化センターを核とする地域貢献の取組



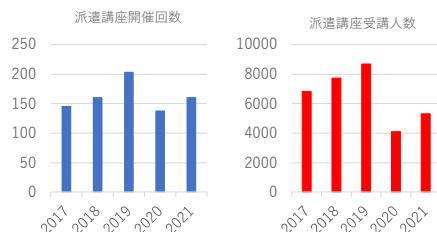
1. 運営推進会議の開催
2. 特別講演会の開催
3. 公開講座の開催
4. 派遣講座の開催
5. 地域実践研究事業の実施
6. 地域連携機関（産官民学）との協働・連携事業
7. 地域課題をテーマとした学生参画型実学・実践教育の推進
8. 教育連携事業
 - ・高大連携の実施
 - ・大熊町教育委員会と教育連携

7

会津大学短期大学部の事例

2022年度派遣講座メニュー（13分野130講座）

1. 東日本大震災にかかる震災関連講座（2講座）
2. 短期大学部の教育に関連する講座（3講座）
3. 経済に関連する講座（4講座）
4. 地域問題・地場産業に関連する講座（8講座）
5. コンピュータ・情報化社会に関連する講座（7講座）
6. 経営学・会計学に関連する講座（9講座）
7. 建築・デザインに関連する講座（15講座）
8. 工芸に関連する講座（3講座）
9. 栄養・健康に関連する講座（21講座）
10. 食品・調理に関連する講座（16講座）
11. 社会福祉に関連する講座（13講座）
12. 幼児・児童に関連する講座（23講座）
13. 教養に関連する講座（6講座）



特別講演会 「地域活性化と食育推進」



公開講座
「リンカーン大統領の名演説で発音トレーニング」



地域連携機関との協働・連携事業
「あいづまちなかアートプロジェクト」



地域課題をテーマとした学生参画型実学・実践教育
学生による奥津（只見線沿線エリア）の活性化

8

静岡県立大学短期大学部の事例（入学定員140、教員37、職員14）

地域団体との連携事業（NPO法人ホスピタル・プレイ協会との連携）

HPS -ホスピタル・プレイ・スペシャリストの養成-

遊びを通して入院や通院している子どものストレスを軽減し、治療をサポートする小児医療チームの一員として働く専門職の養成—わが国では初めての事業—

HPSの専門教育は1960年代に英国ではじまり、現在ではニュージーランド、オーストラリア、香港において養成がおこなわれている。同大学では、当初、文科省の委託事業で開始（平成9年度から実施）

（NPO法人ホスピタル・プレイ協会は、この講座の修了生が設立した法人）



9

HPSは、県内・全国で活躍

全国初の事業

- ・これまでに218人のHPSが誕生
- ・HPSは、静岡県をはじめ33都道府県の約100か所の病院や施設で活躍

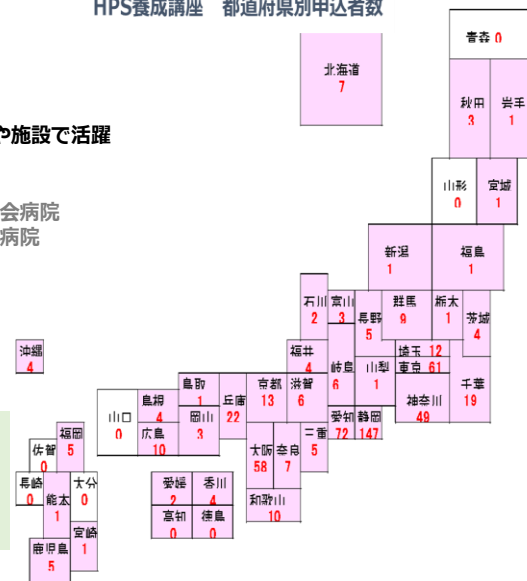
県内

- ・静岡県立こども病院
- ・静岡県立総合病院
- ・静岡済生会病院
- ・浜松大学医学部付属病院
- ・市立島田市民病院
- ・聖隷浜松病院
- ・遠州総合病院
- ほか

HPS養成講座は、社会人対象の週末講座

定員： 各15人程度
 応募資格： 児童福祉、児童教育、保育、小児看護などの領域で学びを修めた者など
 修了認定： 履修証明書及びHPS資格認定書を交付する。

HPS養成講座 都道府県別申込者数



10

倉敷市立短期大学の事例（入学定員100、教員23、職員8）
地元繊維産業で働く勤労学生の学び舎として設置



「国産ジーンズ発祥の地」における地域実践活動（服飾美術学科H6設置）

- アパレルアートの有能な人材育成
 - アパレル産業についての技術振興開発、交流の機能
 - アパレル産業の情報発信基地
 - 地域社会、社会人に開かれた大学 など
- （平成5年アンケート「服飾美術学科への期待度調査」による。）



デニムウィークを開催



ファッションショーを開催



織博（SEN-I EXPO）に参加



せんい祭に参加

11

地域に開かれた短期大学づくり



■共同研究

◆「倉敷市産学共同研究」

平成16年度より繊維関連企業等との産学共同研究を実施

- （実績）
- ・ナイロンデニムの科学的検証および付加価値のある活用方法
 - ・衣料品の快適性に関する研究
 - ・デニムを用いたフォーマルウェアの可能性についての研究
 - ・着心地の良いタクシードライバーの制服

◆「人工気候室」を使った受託研究

砂漠から北極まで、様々な気象条件を再現

アパレル系では中国・四国地方唯一



◇地域に開かれた短期大学づくりの推進

「産学共同研究推進委員会」から「地域連携センター（仮称）設置」構想の推進

12

地元密着型の地域貢献に向けての課題

実践を通じて見えてきた課題

－小規模短大ならではの課題－

- 教育・研究の時間の確保・実践活動資金の確保
教員数が少なくS/T比が大きく、研究資金も少ない小規模な公立短大
- 行政との安定的連携/首長との意見交換など
- 公立短大の教育研究と地域ニーズとのマッチングの実現
専門知識を持った目利き人材、活動目標を支援する体制
- マンパワー等の確保
地方の小規模短大と零細企業という人的資源・資金の不足(研究資金の不足)
- 地元での連携体制(小規模プラットフォーム)の形成
コーディネーター、地域の意識改革、地域企業間・大学間連携
- 地域連携活動の効果測定と評価
成果について適正な加算的評価も必要
- 地域の雇用創出

13

公立短大の地元貢献の基盤形成に向けての支援

地方貢献事業をスタートアップするためには国・設置者からの支援が必要

新たな事業に向けては、資金や人材、設備等を揃えられない状態が多い。

スタートアップの学内基盤の形成(シードステージ)

①地元ニーズと学内シーズの発掘

大学の資源と、地場産業の新たなニーズを見極める
コーディネーターの確保
(設置者との協議連携)

②地域が求める学内基盤の充実

準備・試行事業のための資金、
地域連携のマンパワーなど

大学が、新たな連携事業をスタートアップするため、大学の研究活動を事業へとつなぐまでのギャップを埋める資金が必要
国による特別交付税措置の更なる活用など

地場産業との連携(アーリーステージに向けて)

地域の意識改革と協力 → 大学任せでなく、県・市主導の企業・団体への呼びかけ

小規模地元プラットフォームの構築やローカルファンドの創設

14

●公立短期大学に対する地方交付税措置についての要望書

総務大臣 松本 剛明 あて

公短大協第6号 令和5年8月18日
全国公立短期大学協会 会長 柳沢 幸治

平素は公立短期大学の振興・助成につき御配慮を賜り厚く感謝申し上げます。
おかげさまで、本協会に加盟する各公立短期大学の施設・設備等の整備は徐々にすすみ、教育研究機能を向上させるうえで大いに役立っております。

公立短期大学は、地方自治体における身近な高等教育機関の一つとして、また、地域と連携・協力して多様な学習機会を提供し、地域における知識基盤社会の土台づくりの場として設置・運営がなされており、関係者一同の懸命な努力により、地域社会に貢献できる高度な知識・技芸を修得し人格を陶冶した有為な人材の育成に努めてきております。

このような役割を担い、たゆみない活動を継続しておりますが、現下の厳しい社会経済情勢のもと、地方自治体の財政事情もあつて、公立短期大学を巡る財政は厳しい状態にあります。

もとより我が国の厳しい財政状況は承知しておりますが、地方における公立短期大学の役割をご理解いただきまして、次年度の予算編成に際しましては、引き続き、公立短期大学の教育研究機能の向上を支える地方交付税措置等に関し、国において格段の財政援助措置をいただきますよう要望いたします。

要 望 事 項

●公立短期大学に対する地方交付税の拡充について

基準財政需要額の教育費(短期大学)にかかる単位費用の引き上げ改善について格別の御配慮を要望します。

●自治体と連携して地域活性化に取り組む公立短期大学に対する支援の充実について

地方大学を活用した雇用創出・若者定着の促進など、自治体と連携して地域活性化に取り組む公立短期大学に対する支援(国庫支出金の在り方、地方交付税等地財制度等)の継続・充実に要望します。

3) 会員校間における情報交換

(1) 公立短期大学の卒業生の受入先企業・団体等へのアンケート調査について

(調査結果は「事業報告 44 ページ」以降に掲載)

公立短期大学の卒業生の受入先企業・団体等へのアンケート調査(要領)

1. 趣旨・目的等

このアンケート調査は、各公立短期大学の協力のもとに行うもので、公立短期大学の卒業生が就職した企業・団体等においてどのような職に就いているのか、また、受入企業・団体等が公立短期大学にどのようなことを期待しているのかなどを把握し、今後の公立短期大学の学生指導や教育の参考にすることを目的とする。

なお、ご回答いただいた企業・団体名、個別の内容等については一切公表しないこととし、アンケートを取りまとめて資料として利用する場合においては、企業・団体名、個別の内容等が特定されることがないように集計し、会員短期大学に提供する。

また、公立短期大学ごとの集計は行わない。

2. 実施方法

アンケートの実施(調査の実施・集計等)は公短協が行うものとし、アンケートに必要な公立短期大学の卒業生の就職先企業・団体等名・所在地等の情報は、各公立短期大学から情報提供していただくものとする。

アンケートはオンライン形式により行う。(One Drive を予定)

3. 実施手順

- ① 各公立短期大学からは、卒業生の就職先企業・団体等名・所在地等について、別紙様式 2 により電子データにて提出していただくこと。

- ・就職者数が年 100 人/程度の大学＝過去 3 年間程度について 60 社程度

- ・就職者数が年 200 人以上の大学＝過去 3 年間程度について 100 社程度以上を目安

- ② 公短協は、提出いただいた名簿に基づき、各企業・団体等宛ての宛名データを整理の上、封書に宛て名を印刷し、各企業・団体等宛てにアンケートの依頼通知を発送すること。

- ③ 依頼文書には、次のことを記載すること。

- ・アンケート依頼の趣旨・目的。

- ・アンケートは、オンライン形式 など

- ④ オンラインでの調査方法

依頼を受けた企業・団体等においては、依頼文書に記載されたメールアドレス又は QR コードにより、クラウド上のアンケートのフォーマット(別紙様式 1)を開き、記入・回答の上、返信する。

⑤ アンケートの回答情報は、Excel 上のフォーマットにおいて集計する。

4. アンケートの集計・公表

アンケートの集計は公短協において行う。

集計は、全体の集計を行うとともに、就職先に卒業生がいる短期大学ごとの取りまとめを行い、当該短期大学に情報を還元する。ただし、短期大学ごとの取りまとめ情報は、当該大学以外へは提供しない。

全体の集計結果は、会員短期大学に提供するとともに、必要に応じ、関係省庁にも提供する。

なお、集計結果を公表する場合の内容は別途検討するものとする。

5. 実施日程(案)

○各公立短期大学へ卒業生の受入先企業・団体等名称、所在地の依頼

7月6日(木) 依頼

7月20日(木) 回答

○発送名簿の整理

7月21日(金)～8月2日(水)

○企業・団体等あて依頼文の発送

8月4日(金)

○企業・団体等からの回答

8月31日(木)

○集計

(全体集計及び就職先に卒業生がいる短期大学ごとの取りまとめ含む。)

9月15日(金)まで

○集計結果の各公立短大への送付

(就職先に卒業生がいる短期大学ごとの取りまとめ結果の送付含む。)

9月20日(水)～

○集計結果の公表(公表内容は別途検討)

9月20日(水)以後

(2) 総会・研修会等における情報交換

区分	調査項目・内容	結果の公表
「公立短期大学実態調査表」 (令和5年版) <R5よりオンラインにて実施>	①学生について ②教職員について ③外国の大学との交流について ④図書館並びに福利厚生施設について ⑤大学予算等について	R5.12 会員校へ冊子発送 ホームページにも掲載

	⑥地域貢献等について ⑦男女共同参画社会について ⑧教員の定年・任期制等の状況について ⑨四年制への転換、再編統合・改組等の検討状況について ⑩公立短期大学で取得可能な免許・資格等について ⑪認証評価の実施状況	
第 73 回(春季)通常総会研究協議 議題	①単位の実質化にかかる履修単位数の上限設定について(盛岡短期大学部) ②運営費交付金の効率化係数について(山形県立米沢女子短期大学) ③学生の実習発表会における個人情報保護について(静岡県立大学短期大学部) ④非常勤講師との懇談会について(三重短期大学) ⑤学生による授業評価アンケートについて(三重短期大学) ⑥学習管理システム(LMS)について(鹿児島県立短期大学) ⑦安否確認システムについて(鹿児島県立短期大学) ⑧科研費のバイアウト制度について(鹿児島県立短期大学)	通常総会資料として配布・意見交換 (会員用ホームページにも掲載)
第 73 回(秋季)通常総会研究協議 議題	1-1 教養としての生成型AI 教育について(旭川市立大学短期学部) 1-2 生成AIの取り扱いに関するガイドラインについて(鹿児島県立短期大学) 2法人化されている大学における定員を超えた人数分の授業料収入、入学料収入の取扱いについて(山形県立米沢女子短期大学) 3高大連携の実態に関して(大月市立大月短期大学) 4個別案件に対する討議について(大分県立芸術文化短期大学) 5障がいをもつ教員への対応について(鹿児島県立短期大学) 6学生アシスタントの私費による雇用について((鹿児島県立短期大学)	通常総会資料として配布・意見交換 (会員用ホームページにも掲載)
第 42 回幹部研修会提案協議	①寮の男女共同化について(宮古短期大学部) ②学内の Wi-Fi 環境の整備状況について(三重短期大学) ③協議事項のHP掲載について(大分県立芸術文化短期大学) ④教員の労働時間等について(大分県立芸術文化短期大学) ⑤大雨特別警報発令時の授業・試験の取り扱いについて(鹿児島県立短期大学)	幹部研修会資料として配布・意見交換

	⑥性暴力等に関する相談への対応に関する体制の整備について(鹿児島県立短期大学) ⑦保護者による任意の組織(高校までのPTAに類似したもの)について(鹿児島県立短期大学) ⑧学生の休憩のためのスペース確保について(鹿児島県立短期大学)	(会員用ホームページにも掲載)
第54回公立短期大学事務職員中央研修会課題提案	<①業務上の懸案事項等> (イ)学務・学生支援業務関係 1 留学生の在籍報告について(旭川市立大学短期大学部) 2 補講の調整方法について(宮古短期大学部) 3 非常勤講師への委嘱事務の見直しや効率化(盛岡短期大学部) 4 クラブ活動の管理について(三重短期大学) 5 時間割や休講補講の管理について(倉敷市立短期大学) 6 学生支援の体制構築について(大分県立芸術文化短期大学) 7-1 休学中の学生の復学見込みの時期以降の履修登録について(大分県立芸術文化短期大学) 7-2 学期途中で休学または退学となった学生の成績付与について(大分県立芸術文化短期大学) (ロ)管理・運営関係 1 学生寮の管理体制について(宮古短期大学部) 2 出願書類の志望理由書等のデータでの出願について(盛岡短期大学部) 3 落とし物があつた際の学生へ都度周知等について(倉敷市立短期大学) 4-1 公開授業や公開講座について(大分県立芸術文化短期大学) -①実施しているか -②赤字でも開講しているか -③講義は全て常勤教員で実施しているか -④受講料はどのような基準で設定しているか -⑤受講生を集めるためにどのような広報を行っているか -⑥講座のニーズ調査はどのように行っているか 4-2 教務システム、図書システムを導入しているか、システムの名称、クラウド化の有無について(大分県立芸術文化短期大学)	中央研修会資料として配布・意見交換 (会員用ホームページにも掲載)

	5 入学手続き時に実習教材費を徴収について(大分県立芸術文化短期大学) -①実習教材費等預かり金関係種類と額、徴収の時期 -②チェック体制 -③実習教材費等預かり金に関する規程、徴収時に配布する資料 <②大学が当面している課題> 1 指定校推薦を実施されている大学において、枠数、範囲など(旭川市立大学短期大学部) 2 学生寮について(宮古短期大学部) 3 生成系 AI(Chat GPT 等)について(盛岡短期大学部) 4 学生確保に向けた広報活動について、SNSやYoutube等を活用しているか(岐阜市立女子短期大学) 5 Web出願の現状と課題について(三重短期大学) 6 学生を集めの好事例を伺いたい(倉敷市立短期大学) 7 学生募集について、短期大学という形態についてもっと理解を促す取組を1短期大学だけではなく協会や文部科学省などを巻き込んで実施すべきではないか(大分県立芸術文化短期大学) 8 合理的配慮の提供等に関しての入学前の説明について(大分県立芸術文化短期大学) <③ 災害への対応状況> 1 新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけ変更後の入試実施における感染対策の変更部分について(盛岡短期大学部) 2 突発的な災害(風水害や地震、ミサイル発射など)に対する休講措置等の規定など(倉敷市立短期大学)	
--	---	--

4) 後援名義の許可

年月日	申請者	内容(事業内容、期間)
公短大協第 23 号 令和 5 年 3 月 10 日	独立行政法人 大学入試センター	令和 5 年度全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会 (第 18 回) 期 間;許可日から令和 5 年 5 月 20 日 内容;後援名義の使用

公短大協第2号 令和5年4月27日	全国大学コンソーシアム協議会	第20回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム 期 間;許可日から～令和5年9月3日 内 容;後援名義の使用
公短大協第1号 令和6年3月7日	特定非営利活動法人学生文化創造	令和6年度「学生支援相談事業」 使用期間;令和6年3月21日～令和6年12月31日 内 容;後援名義の使用 使用方法;大学等への事業案内及び広告等

5. 外部機関の委員会等における活動(令和5年度)

(R6.3 現在)

名称	職名	氏名・所属	継続・推薦	任期等
【内閣府】 男女共同参画推進連携会議	議員	村井美代子 (三重短期大学学長)	理事から	R1.8.16～
【文部科学省】 就職問題懇談会	委員	阿部 宏慈 (山形県立米沢女子短期大学学長)	学長から	R5.4～
【〃】 大学設置・学校法人審議会 (大学設置分科会)	委員	村井美代子 (三重短期大学学長)	理事から	R2.4.1～ 2年毎
【〃】 全国学生調査有識者会議 委員	委員	安達 励人 (倉敷市立短期大学学長)	学長から	R4.10.1～R5.9.30 R6.2.19～R7.9.30
【大学ポートレート】 大学ポートレート運営会議	委員	柳沢 幸治 (大月市立大月短期大学学長)	理事から	R2.9.1～ 2年毎
【大学改革支援・ 学位授与機構】 運営委員会	委員	杉山寛行 (前・岐阜市立女子短期大学学長)	理事等 から	R2.5.15～R6.3.31
【日本高等教育評価機構】 短期大学評価判定委員会	委員	畑中 重光 (岐阜市立女子短期大学学長)	学長から	R5.4.1～R7.3.31
【教育著作権フォーラム】 著作物の教育利用に関する 関係者フォーラム委員	委員	中路 喜之 (大月短期大学 准教授)	会員校 から	R5.4.1～ 1年毎

公立短期大学の卒業生の受入先企業・団体等へのアンケート(調査結果) (2023.9.22まとめ)

協力いただいた企業・団体等について

アンケート実施期日	令和5年8月3日(木)～ 8月25日(金)		
対象とした企業・団体等	過去3年程度の間に公立短期大学卒業生を採用した全国の企業・団体等933社		
依頼数・回答数等	依頼書発送数933通	回答数334件 (Formsにて回答)	回答率35.8%

◆ 公立短期大学一覧(令和5年3月末現在)

岩手県立大学 宮古短期大学部	静岡県立大学 短期大学部
岩手県立大学 盛岡短期大学部	静岡県立農林環境専門職大学 短期大学部
山形県立 米沢女子短期大学	三重短期大学
会津大学 短期大学部	島根県立大学 短期大学部
川崎市立看護短期大学	倉敷市立短期大学
大月市立大月短期大学	大分県立芸術文化短期大学
岐阜市立女子短期大学	鹿児島県立短期大学

*川崎市立看護短期大学卒業生は本アンケートの対象に含まれていない。

◆ アンケートにご回答いただいた企業・団体等の都道府県別の数(334社)

都 道 府 県	企業・団体数	都 道 府 県	企業・団体数	都 道 府 県	企業・団体数	都 道 府 県	企業・団体数
北海道	1	東京都	18	滋賀県	—	香川県	—
青森県	3	神奈川県	—	京都府	—	愛媛県	1
岩手県	28	新潟県	5	大阪府	1	高知県	—
宮城県	6	富山県	2	兵庫県	—	福岡県	2
秋田県	1	石川県	—	奈良県	1	佐賀県	1
山形県	16	福井県	—	和歌山県	—	長崎県	—
福島県	19	山梨県	9	鳥取県	2	熊本県	2
群馬県	—	長野県	4	島根県	18	大分県	28
栃木県	3	岐阜県	15	岡山県	25	宮崎県	1
茨城県	—	静岡県	55	広島県	4	鹿児島県	23
埼玉県	2	愛知県	8	山口県	—	沖縄県	—
千葉県	2	三重県	28	徳島県	—	計	334

◆ アンケートにご回答いただいた企業・団体等の職員（社員）数の区分

職 員 数	企業・団体数
1～50人	88
51～100人	43
101～500人	112
501～1000人	41
1001人以上	50
計	334

◆ アンケートにご回答いただいた企業・団体等の業種

業 種 区 分	企業・団体数
農林漁業	30
建設業	15
製造業	37
電気ガス水道業	2
情報通信業	15
運輸業	8
卸小売業	54
金融保険業	17
不動産業	3
飲食宿泊業	19
医療福祉業	48
教育・学習業	12
生活関連サービス業	10
公務（官公庁・公団）	7
その他	57
計	334

企業・団体等（334社）へのアンケート結果について

◆ 採用した公立短期大学の卒業生の数（令和3年4月から令和5年8月まで）

● 正規職員（社員）として採用した人数	1,101	人
---------------------	-------	---

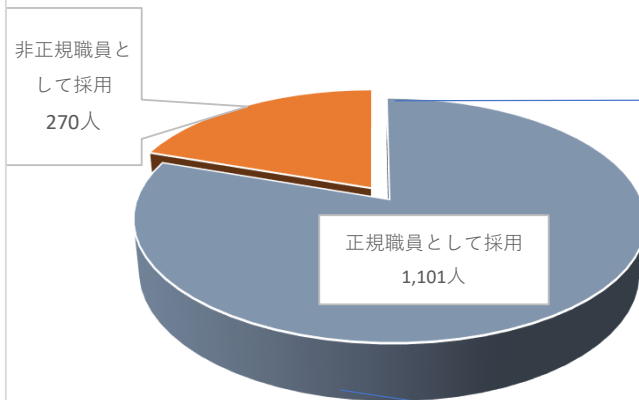
<内訳>（一部重複回答）

総合職（業務範囲を決めずに採用）	509	人
一般職（事務職など）	297	人
専門・技術職（医療、福祉、保健、教育、デザイン、ITなど）	215	人
販売職（販売、営業、小売など）	122	人
農林職（農林関連団体の各種業務含む。）	38	人
上記以外の職	46	人

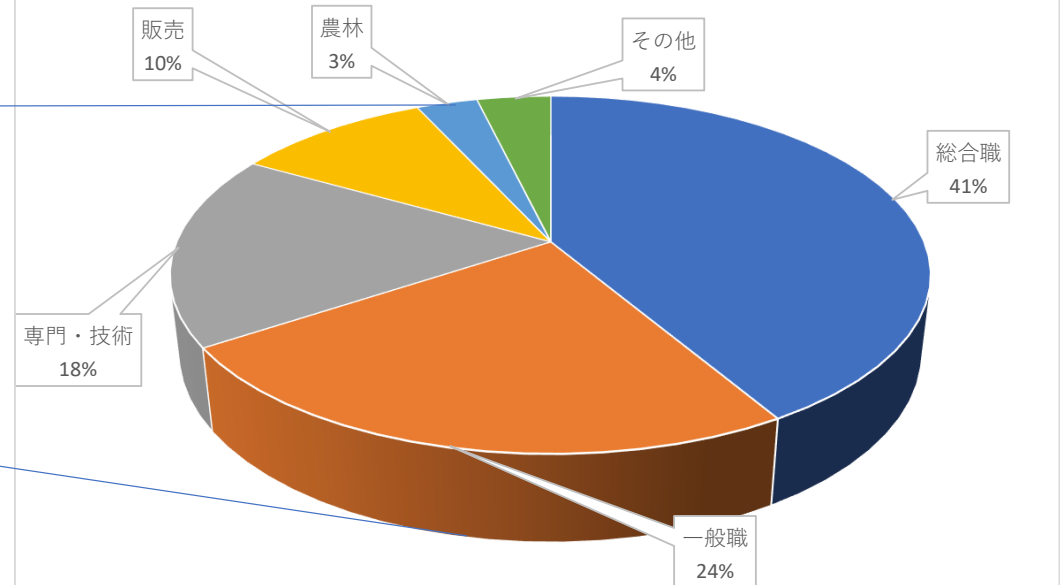
● 非正規職員（社員）として採用した人数	270	人
----------------------	-----	---

契約の期間が5年未満の者、正規職員に比べて就業時間が短い者、採用時に、契約職員（社員）、嘱託職員、非常勤職員などとして採用している者

正規職員・非正規職員の採用人数



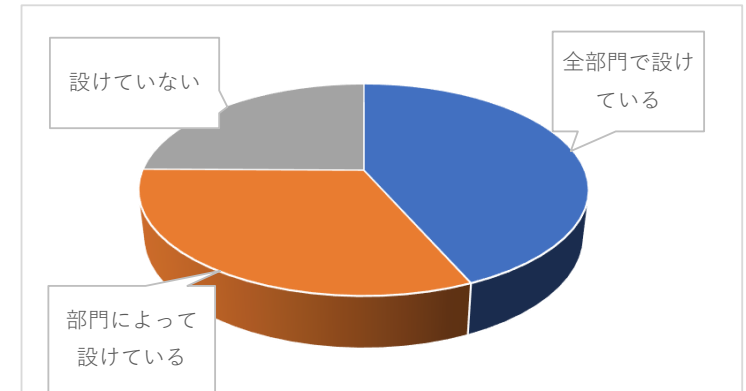
正規職員採用者の職種内訳



◆ 新卒者の採用にあたっての学歴による採用枠

(企業・団体数)

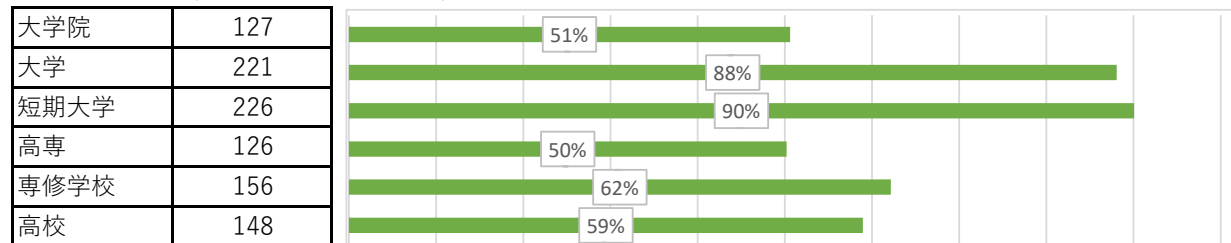
①全部門で設けている	145	251
②部門（職域又は職種など）によって設けている	106	
③設けていない	83	
計	334	



◆ 学歴による採用枠の内訳

(上記の「学歴による採用枠」①+②=251の企業・団体等の学歴区分)

(企業・団体数 = 重複回答)



◆ 企業説明会（短大または短大を含めて）の実施状況（令和5年度は実施予定を含む。）

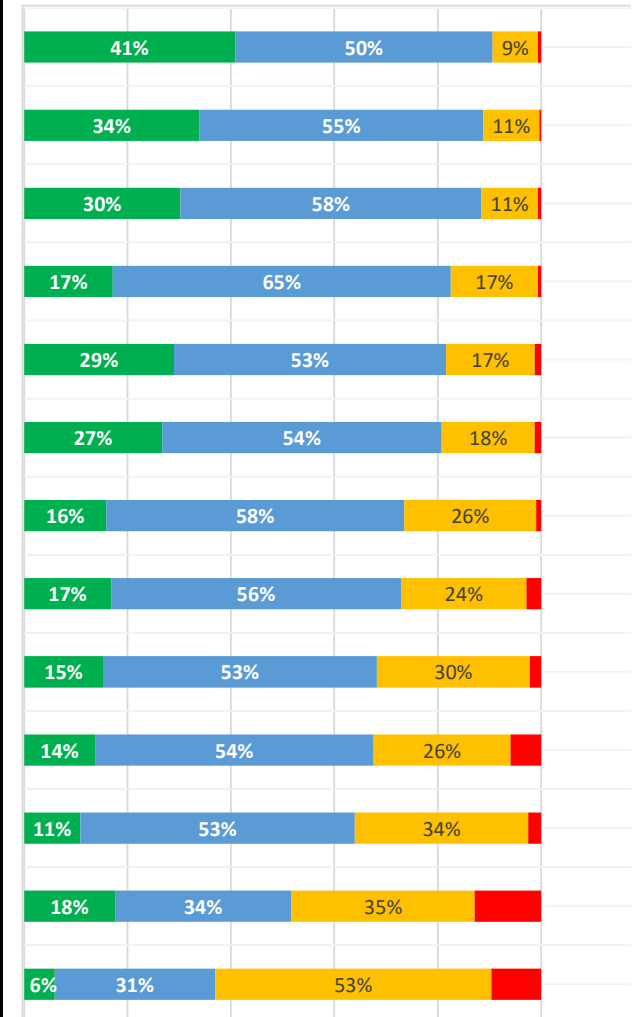
(実施率)

令和5年度	70%
令和4年度	60%
令和3年度	55%

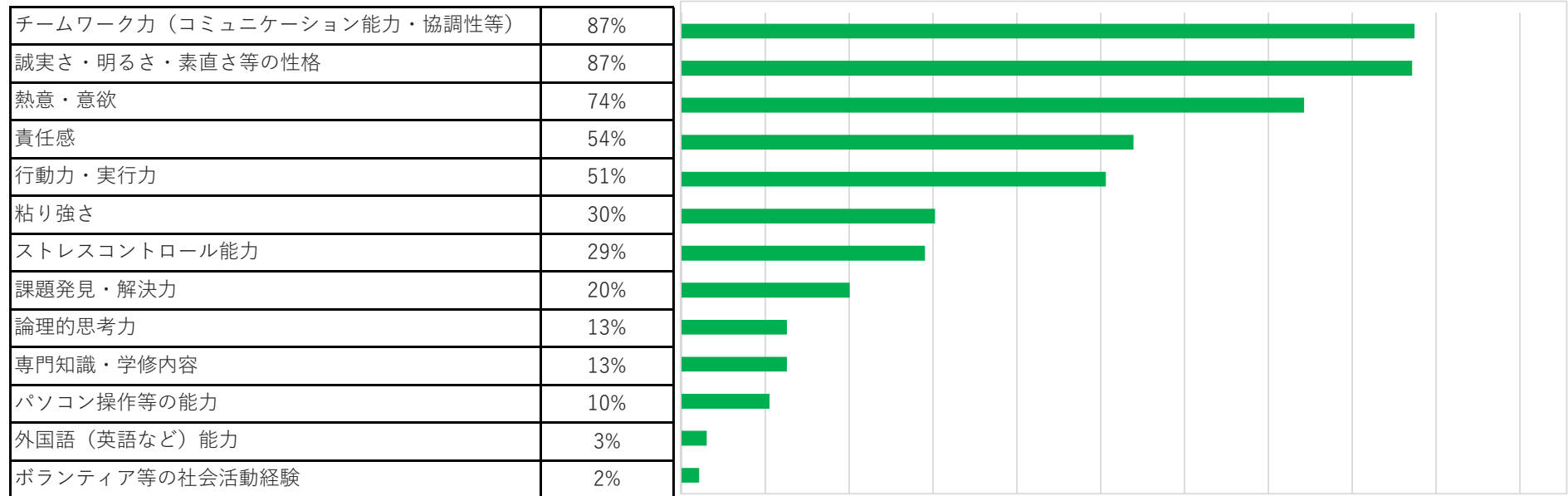
◆ 採用した公立短期大学卒業生の印象（主に過去3年間の採用者について）

（次の各項目ごとに、一つ選択回答）

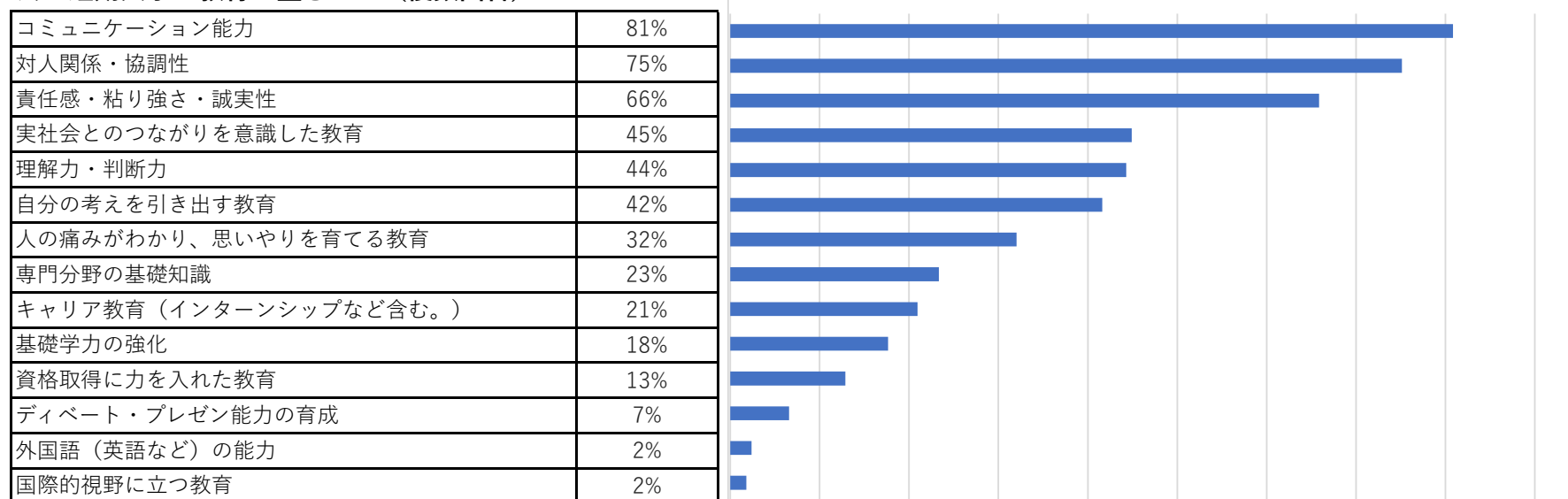
項 目	とても そう思う	そう思う	どちらともい えない	そう 思わない
責任をもって仕事をしている	41%	50%	9%	1%
与えられた課題を最後までやり抜く粘り強さがある （指示されたことはきちんとこなす）	34%	55%	11%	0%
職場の上司・同僚とうまく協力して仕事ができる （協調性がある）	30%	58%	11%	1%
業務遂行上必要な社会人としての 一般常識を備えている	17%	65%	17%	1%
組織人としてのマナー・倫理観を備えている	29%	53%	17%	1%
職場の上司・同僚、お客様、取引先（利用者） との適切なコミュニケーション能力がある	27%	54%	18%	1%
失敗から学んだことを、他の状況下においても 応用する能力がある	16%	58%	26%	1%
短期大学での学習経験が業務上役立っている	17%	56%	24%	3%
自ら新しい課題に取り組む熱意・意欲がある （指示以上に取り組む）	15%	53%	30%	2%
業務上必要な知識・技術を有している	14%	54%	26%	6%
仕事を論理的・合理的に組み立て、 解決する能力がある	11%	53%	34%	2%
業務上必要な資格を有している	18%	34%	35%	13%
周囲をまとめて仕事を進めるリーダーシップがある	6%	31%	53%	10%



◆ 新卒者（短大または短大を含む）採用選考の際に重視しているもの（複数回答）



◆ 公立短期大学の教育に望むこと（複数回答）



◆ 公立短期大学に対する印象や考え（複数回答）

